

官民合同による整備促進大会を開催



西広島バイパス都心部延伸事業の早期再開・早期供用の実現に向けて、平成30年1月16日に地元経済界を主体とする「西広島バイパス都心部延伸事業促進協議会」と、地元自治体を主体とする「国道2号西広島バイパス高架建設促進期成同盟会」の共催により、一般国道2号西広島バイパス整備促進大会を開催しました。

大会には、促進協議会会長を務める深山英樹広島商工会議所会頭、期成同盟会会長を務める松井一寛広島市長のほか、地元関係国議員や周辺自治体の首長・議長、地元経済団体・企業の幹部など約130名が出席し、西広島バイパス都心部延伸事業の早期再開・早期供用の実現を誓いました。

様々な機会を通じて事業の必要性をPR



平成30年3月に開催された『第6回ひろしまみなとフェスタ』（2日間で約6万5千人が来場）において、PRブースを設置し、パネル展示及び整備効果の周知を行いました。

パネルを展示したブースには多数の来場者が訪れました。整備効果の説明を行った結果、早期整備を望む声が多く聞かれました。

主な成果

- 通勤や仕事で西広島バイパスを利用するが、西広島バイパスの帯入出口はいつも渋滞している。
- 渋滞が緩和されるのであれば、西広島バイパス都心部延伸事業を早く実施してほしい。

【聴取取り寄せ：187人（グループは1人として整理）】

その他、事業の必要性をPRするため、様々な取組を実施しています。

▽ホームページの作成



▽区役所におけるパネル展示



▽ポケットティッシュの配布



沿道地域から早期全線開通を求める要望書が提出



平成30年6月15日に、西広島バイパス都心部延伸区間の沿道の町内会や社会福祉協議会など57の地域団体より、中国地方整備局長及び広島市長、広島市議会議員に対して、西広島バイパスの早期全線開通を求める要望書が提出されました。

要望主旨 高架道路の全線開通は、長年、地域内の渋滞や騒音などに悩まされている我々の積年の願いであり、広島の将来・未来のためにも極めて重要である。

広島市議会において『早期全線供用を求める決議案』が可決

平成30年6月28日に、広島市議会において『一般国道2号西広島バイパス都心部延伸事業の早期全線供用を求める決議案』が可決されました。

一般国道2号西広島バイパス都心部延伸事業の早期全線供用を求める決議

一般国道2号西広島バイパスは、広島市と廿日市市を結び、沿道地域の開発と経済の発展に大きく寄与する重要な広域幹線道路である。

《 中 略 》

さらに、今月には、沿道地域の多くの社会福祉協議会や町内会から、同バイパス高架道路の全線開通を求める要望書が本市議会へ提出されたところであり、事業へ期待する住民の声は大いに高まっている。

よって、本市議会は、改めて沿道地域や地元経済界が強く望む西広島バイパス都心部延伸事業の早期全線供用の実現に向けて、引き続き全力で取り組まれるよう強く求めるものである。

以上、決議する。

（平成30年6月28日）

— 西広島バイパス都心部延伸事業促進協議会 —

【事務局】
広島商工会議所 産業・地域振興部 地域振興チーム
TEL: (082) 222-6641 / FAX: (082) 222-6411
E-Mail: hiroshima@hiroshimaccl.or.jp
<http://nishihiroshimabypass-epc.hiroshimaccl.or.jp/>

— 国道2号西広島バイパス高架建設促進期成同盟会 —

【事務局】
広島市 道路交通局 道路部 道路計画課
TEL: (082) 504-2361 / FAX: (082) 504-2427
E-Mail: doukei@city.hiroshima.lg.jp

～中四国地方の発展をリードする
魅力的な都心づくりを目指して～

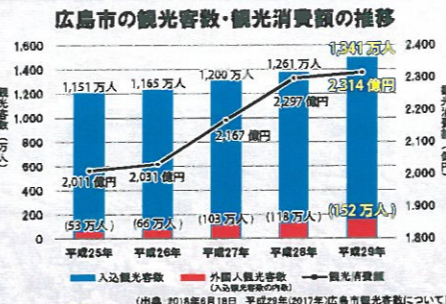
**一般国道2号
西広島バイパス 都心部延伸事業**

ROUTE2
Nishi-Hiroshima Bypass

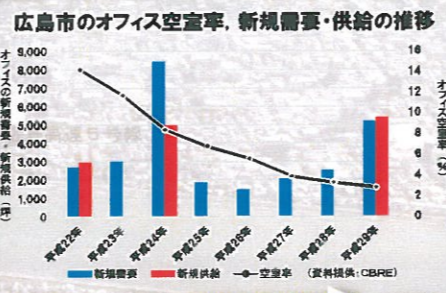


西広島バイパス都心部延伸事業促進協議会
国道2号西広島バイパス高架建設促進期成同盟会

西広島バイパス都心部延伸事業の整備は
中四国地方をリードする広島市の都心部の持続的な成長を支えます。

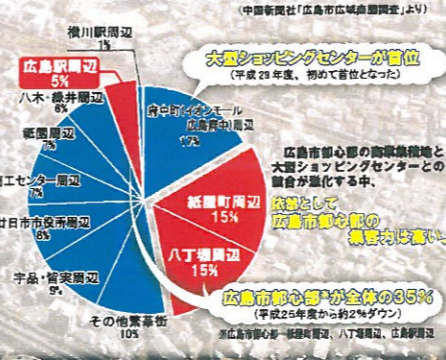


H25 外国人観光客数が約3倍
観光消費額が300億円増 H29



H25 新規需要が約3倍 H29

H22 空室率が約5分の1 H29



広島市都心部の事業者の声

広島市都心部の事業者は、早期事業再開・全線開通を期待しています。

ホテル業界 世界的に知名度の高い“HIROSHIMA”の観光地間のアクセス向上に期待

—平和大通り沿いにホテルを建設中の企業の声—
建設中のホテルは、広島市都心部であるとともに平和公園に近接する、観光面で優位性の高い立地条件であり、増加する外国人旅行者の宿泊をターゲットとしている。
本事業により、観光客の主要ルートである広島市中心部⇄宮島間のアクセス性の向上が見込まれることから、同事業が観光活性化に繋がる期待も大きい。

—平和大通り沿いで営業中のホテルの声—
本事業により渋滞が緩和されれば、広島市都心部と宮島をはじめとする観光地間を結ぶシャトルバスの運行など、新たな取組を考えるきっかけとなり、ホテルの利便性向上や観光活性化に繋がること大いに期待される。

オフィス業界 中四国地方の営業活動拠点である広島市の更なる発展に期待

—都心部において大型オフィスビルを建設中の企業の声—
建設中のビルは、広島市内に分散していた部署を統合するとともに、耐震性やオフィス機能を強化し、中四国地方の拠点として利用する。
本事業により渋滞が緩和し、取引先へのアクセスが向上すれば、広島市を拠点とする営業活動の効率化に繋がる。
また、低層階は、店舗等の貸テナントとして利用する予定であり、都心部の賑わいの創出も期待される。
中四国地方の中心は広島市であり、行政(道路整備など)と経済界(オフィスビルの展開など)が一体となって、より一層、街を活性化していく必要がある。

小売業界 渋滞緩和による来店客の時間的余裕は売上げの拡大に繋がる

—都心部の百貨店の声—
本事業により渋滞が緩和し、来店客の時間的余裕が生まれれば、レストラン街での食事や、購買時間が比較的短い食品売り場における買い物など、売上拡大に繋がる消費機会の創出が期待できる。
来店客は“帰り道が渋滞しているから早めに帰ろう”という感覚を持っており、僅かな時間であっても買い物などに充てられる時間が増加すれば、広島市都心部全体の回遊性の向上にも繋がるだろう。
また、本事業により都心部へのアクセス性が向上すれば、新たな設備投資を行うなど、店舗の活性化に向けた取組にも繋がる。